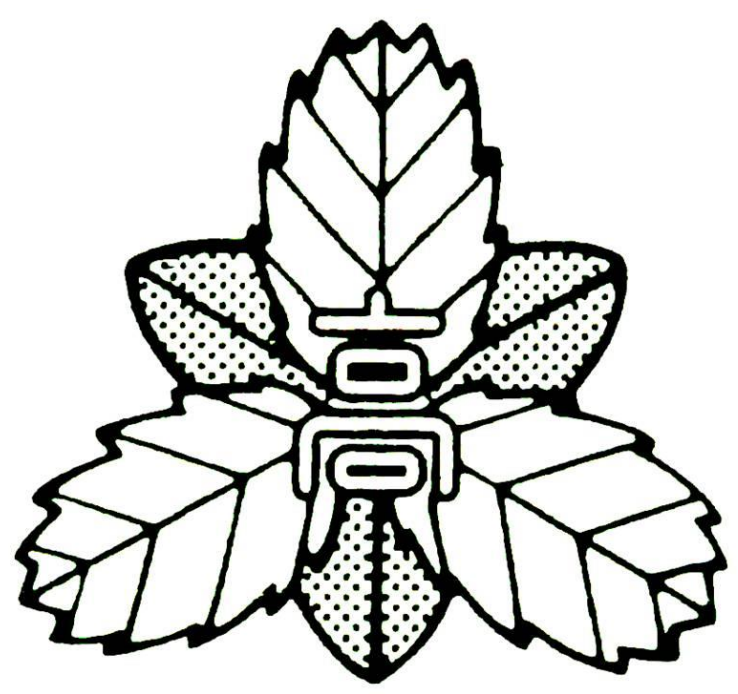




宮城県加美農業高等学校

～平成29年度 志教育の実践～

文部科学省指定
農業経営者育成学校
パイロットスクール

加美農業高校は宮城県北西部に位置する色麻町にあり、町の西側は奥羽山脈の山岳地帯、東側は大崎平野にかかる四季折々の美しい自然がある場所に位置しており、絶えず未来を目指した教育を展開することによって、農業経営者育成高等学校「パイロットスクール」としてこれまでに数多くの地域リーダーを輩出しています。

現在本校には農業科、農業機械科、生活技術科の3学科221名が在籍しております。「農業高校のすばらしさ」を知ってもらうために、地域の方々を巻き込んだ様々な志教育の実践を報告させていただきます。

1 よりよい生き方を「もとめる」

- ◆体験をととして、困難に負けない体力と逞しい精神力を培い、次世代を生き抜く技術力を育成する。
- ◆外部講師活用等、進路に対する明確な目的を持ち意欲的に取り組む生徒を育成する。

◆「62年の伝統を誇る相撲部」 東北大会・インターハイに出場！
インターハイ優秀32校・東北選抜大会個人体重別100kg以上級第3位
日々の稽古や県内外の学校との強化練習会に真摯に取り組み、これまでインターハイや国体に出場を重ねてきました。今年度も伝統を引き継ぎ不断の努力を大切にしています。

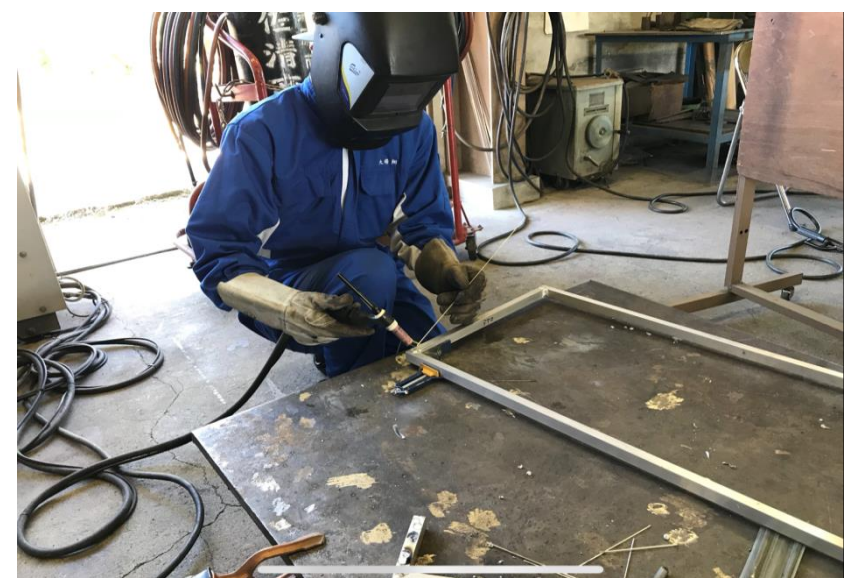


◆魅力ある県立学校づくり支援事業（農業機械科）の取り組み

①ドローン活用で農業を元気に（講義）&本校ドローンの活用術（実践）
世界の人口と食糧問題から大規模圃場化が進み、ドローンなどのIT農業が果たす役割が益々高まることから、世界規模でみた新しい日本農業の形や時代の先を見通して考える良い機会となりました。また、本校のドローンも調査・研究、学校行事で大活躍中です。講師:ドローンジャパン



②先進自動車技術講習会（講義）&エコカープロジェクトの始動（実践）
わが県の自動車メーカーが製造する先進自動車を用いて、より安心・安全・エコな社会をめざす技術者の思いを感じ取ることができました。今年度、環境や化石燃料の問題も加えて、課題研究の授業でエコカープロジェクトを立ち上げました。協力:北部振興事務所、花壇自動車大学校、ホンダ等



◆魅力ある県立学校づくり支援事業（生活技術科）の取り組み

地域と資源の発掘と最前線で活躍するデザイナーさんからの学び
最前線で活躍するファッションデザイナーsuzuki takayukiさんに講習を受け、デザイナーの仕事について学び、実際にデザインをスズキさんと一緒に考えシャツづくりをした。作ったシャツは、地域の町づくり事業『衣・次元シアター』で発表した。また、草花専攻では地域資源発掘に取り組み、学校で藍や苧麻を栽培し、染色や裁縫してコサージュを製作し、それも身につけ発表した。生徒は、地域素材を活用した衣に関するデザインの開発や地域資源の発掘を通して、地域愛が芽生え、外部の方々との交流を通じ勤労観・職業観の育成につながっている。



デザイナーの生の声
に学ぶ

2 人と「かかわる」

- ◆様々な人とのかわりを通して、豊かな人間性を育み、社会性を育成する。
- ◆高校生としてふさわしい、品位（みだしなみ・言葉遣い・ふるまい）、思いやりと責任のある言動がとれる生徒を育成する。

◆「保育園児との交流活動」

えがおの保育園の園児を招き、搾乳や栗拾い、調理、裁縫など私達が普段学んでいることを園児に伝え、体験してもらいました。また、保育園訪問ではリズム遊びや絵本の読み聞かせなどを体験しました。かわいらしい園児と楽しく交流し、子どもとの関わり方を学びました。



◆近隣中学校との交流活動

本校農業科と生活技術科の果樹専攻班が宮崎中学校さんを招待して5月にりんごの摘果（花）を、10月に収穫の体験学習を行いました。りんごができるまでを学ぶと共に農作業の大変さと収穫の喜びを体験してもらいました。私達も中学生が喜ぶ姿を見て農業の魅力を再確認する貴重な体験をすることができました。



3 社会での役割を「はたす」

- ◆ボランティア活動やグリーンツーリズム等を通して、集団や社会貢献における自己の役割・課題を知り、地域社会に貢献できる人材を育成する。
- ◆知、徳、体のバランスが取れた、考えて行動が出来る人材を育成する。

◆被災地支援「酪農を通じた食と命の教育」

本校は酪農教育ファームの認証をうけています。ジュニアファシリテーターの2・3年生と見習いの一年生数名が巨理群荒浜小学校に出向き搾乳体験や、子牛のリード体験、バターづくり等を行った。また、乳牛の一生や、生理生態をについてわかりやすく教えることができました。牛が怖くて触れない児童にどのようにしたら牛を好きになってもらえるのか、とても苦労しました。楽しい体験、牛をかわいと思うこと、そのような経験が、命の大切さ、食のありがたさ、やがては多くのものに感謝する心を育てるのだと信じて活動しました。

